

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切にし信頼される医療を目指します。



「河北潟干拓地ひまわり村」

第7病棟 療養介助員 山川 祐未【撮影者】

夏 号
第74号

.....
令和8年8月17日発行

今年もやってきた！夏祭り！

神経筋ネットワーク研究会が開催されました

第1回 北陸東海筋ジストロフィーリハビリテーション研修会を開催しました

医王病院の障害福祉サービス

家族のための地域の保育園入園について知ろう～相談から手続きまでの流れの説明&座談会～

ALS協会石川県支部総会に参加しました

食中毒を予防しよう！～家庭で気を付けるポイント～

脳ドックのご案内

医王病院からのお知らせ

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図



今年もやってきた！夏祭り！



療育指導室 中町 麻紀 安田 玲奈

夏を感じてほしい！みんなが一緒に参加できる広い空間で夏祭りを楽しんでもらいたい！と療育指導室で声上がり、昨年に引き続き7月13日から1ヶ月間、北棟3階地域医療研修室で病棟、デイサービス合同の“医王夏祭り2026”を開催しました。



さらに今年は、昨年の楽しそうな夏祭りの様子を見た管理栄養士さんから「においだけじゃなくて実際に味わう体験もできるんじゃない？！協力するよ！」と頼もしくお声かけいただき、栄養管理室、看護部のご協力と連携により『わたがし』と『アイスキャンディー』という夏のご褒美、お楽しみタイムが実現しました。夏の暑さをしばし忘れるひんやり、甘いひとときを楽しみました。



扉を開けた瞬間、夏祭りの雰囲気を感じた患者さんの輝く笑顔からスタート！！
たこ焼きビンゴにスイカゲーム、さかなつり、おみくじ、おばけやしきと、会場は見て楽しい、やって楽しい、ちょっぴりドキドキの盛りだくさんなラインナップ

出店体験での触れる体験では、手を上下に振り下ろし、たこ焼きが飛ぶのを見て大笑い、本物そっくりのスイカを手にしてじっと見て思わず口に運ぼうとしたAさん。

周囲に視線を向け笑顔あふれる表情から、「あのゲームはどうやるの？次は何かな？」とわくわくが止まらない様子のBさん。

おばけやしきではかわいいおばけたちがお出迎え。暗い部屋に入ると目を大きく開け、ドキドキしているのか急に静かになるCさん。

参加した方の数だけ『笑顔やびっくり、おいしい、楽しい』の顔や声がありました。



非日常的な空間の体験に繋がり、皆さんにとってにぎやかで楽しい夏の思い出となれば嬉しく思います。

今後も季節を感じられる行事を通して、楽しい経験や気分転換の機会を大切にしていきたいと思います。

神経筋ネットワーク研究会が開催されました

副看護部長 坂本 美紀

当院には神経難病や筋ジストロフィーの患者さんが数多く入院されています。これらの病気を持つ患者さんの医療・ケアの質の向上を目指し、毎年その医療を担う国立病院機構東海北陸グループ管内の病院が中心となり研究会が開催されています。

今年度は6月12日に当院で第51回東海北陸神経筋ネットワーク研究会がハイブリッド形式（対面とWe b）で開催され、13病院より約100名の方々に参加いただきました。

看護師長・リソースナース合同会議では、リソースナース（特定の看護分野に精通し、教育や指導の実績を持つ看護師）の組織横断的活動の実際と看護管理者の支援について話し合われました。リソースナースの知識、技術、経験を生かして患者さんにより良いケアを提供するためにはどうしたらよいか、また、管理者としてその活動をどのように支援していくか、など意見交換を行いました。ランチョンセミナーは当院名誉院長の駒井先生より「神経難病の緩和ケア」と題し、ご講演いただきました。研究会では各病院より12演題の様々な取り組みについての発表がありました。

会議、ランチョンセミナー、研究会それぞれで活発な意見交換がなされ、また各病院での取り組みを共有することができ、これからのケアに活かせる学びの多い研究会となりました。

ハイブリッド開催ならではの通信トラブルなどスムーズにいかないこともありご迷惑をおかけする場面もありましたが、無事に研究会を終了することができ、ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。



第1回 北陸東海筋ジストロフィーリハビリテーション研修会を開催しました

理学療法士長 緒方 陽子

当院では筋ジストロフィーのリハビリテーションについて、北陸地区の医療・教育関係者の皆さまと情報共有、共に学ぶ取り組みとして過去7回研修会を開催してきました。今年度からは地域を拡大して東海地区の方々とも連携を図り、同じ国立病院機構で筋ジストロフィーの診療に携わっている岐阜県の長良医療センター、三重県の鈴鹿病院と3病院で共同開催する運びとなりました。第1回は「筋ジストロフィー支援の最前線」と題し、医師、理学療法士、作業療法士、特別支援学校教諭の方々にご講演いただきました。当院からは第2診療部長の脇坂晃子先生に、本研修会の目的や発足の経緯、また今後の新規治療導入後の課題についてお話しいただきました。今年は長良医療センターをメイン会場とし、鈴鹿病院と医王病院はサテライト会場としてWeb配信と機器展示を行い現地/Web合わせて150名を超える方が参加されました。

筋ジストロフィー診療の進歩に伴い、リハビリテーションに求められることも日々変わっていくと思われます。多施設で情報共有をしながら、よりよい医療を提供できるよう努めてまいります。



ひとりひとりのくらしによりそい、ともに歩むために 医王病院の障害福祉サービス

当院は、主に筋ジストロフィー、重症心身障害、神経難病の方を対象とした障害福祉サービスによるサポートも充実しています。



療養介護サービス

18歳以上の方へ、医療的ケア、日常生活支援、日中活動や行事などを提供します。

デイサービス（通所） 生活介護

児童発達支援・放課後等デイサービス
在宅で過ごされている方が通い、日中を過ごします。医療的ケア、日常生活支援、日中活動や行事などを提供します。

相談支援事業

障害児・者の方とそのご家族のくらしや障害福祉サービスに関する相談に応じ、情報提供やサービス等利用計画の立案などを行います。

医療型障害児入所支援

18歳以下の方へ、医療的ケア、日常生活支援、療育活動や行事などを提供します。学齢児は医王特別支援学校の訪問教育を受けることができます。

どんなサービスがある？
家族での介護に不安がある…
生活について相談したい…

など、まずはご相談ください。

医王病院代表
076-258-1180

相談支援事業所 医王病院あすなろ
080-8090-2876

短期入所

在宅で過ごされている方が、ご家族の介護が難しいときに短期間入所します。医療的ケアや日常生活支援を提供します。



家族のための地域の保育園入園について知ろう —相談から手続きまでの流れの説明&座談会—



いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」 木村 佳乃

当院では医療的ケア児（たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な児童）とその家族、支援者からの各種相談を受け付け、地域における支援体制づくりを支援するため、石川県からの受託により、いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」を運営しています。

「このこの」には、医療的ケアが必要なお子さんのご家族から地域の保育園入園の相談が寄せられます。そこで入園に関する説明会と、家族同士が話し合える機会をつくろうと、6月27日（土）に医王病院にて『家族のための地域の保育園入園について知ろう—相談から手続きまでの流れの説明&座談会—』を開催しました。当日は、6組のご家族と医療的ケア児コーディネーターなどの支援者、合わせて24名の方が参加されました。

金沢市の保育幼稚園課と幼児教育センターの方より、申込み前に園の見学や面談を行うこと、そのために7・8月頃には相談して欲しいことなどのご説明をいただき、ご家族からは、「流れを知ることができた」「子どもにとって何がいいのかを考えて決めていきたい」などの感想がありました。また、「悩んでいるのが自分だけではないと思えたので参加してよかった」という感想もあり、家族同士がつながることの大切さを改めて感じました。

ALS協会石川県支部総会に参加しました

ソーシャルワーカー 小田 輝実

6月28日、日本ALS協会石川県支部の令和8年度総会に参加しました。

記念講演では、金沢ねいろクリニックの小川尚彦先生より、「ALS患者の在宅療養」をテーマに、先生ご自身の豊富なご経験を交えながら、「自分らしく生きる」ことの大切さや、それを支える在宅医療チームの役割についてご講演いただきました。

当院におきましても、ALSとともに生きる皆さまやご家族が、「自分らしい」生活を続けられるよう支援してまいります。また、日本ALS協会石川県支部の皆さんと協力しながら、患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、その人らしい暮らしを支える地域づくりを進めていきます。

これからも患者さんやご家族、地域の支援者の皆さんとのつながりを大切に、ともに歩んでいきたいと思います。



石川なんびょう診療連携室「ランプ」より研修会のお知らせ

『ALS探求!』と題して、ALSについての理解を深めるとともに、日々の暮らしを身近に感じられるような講義と体験型の研修会を開催します。ご興味ある方はぜひご参加ください!

日 時：2026年9月27日（日）9:45～16:00 場 所：医王病院 大会議室

開催方法：集合研修または後日オンデマンド配信

対 象 者：一時入院事業協力医療機関のスタッフ、難病患者への支援に関わるスタッフ等関心のある方

※石川なんびょう診療連携室ランプのホームページより申込みをお願いします。



食中毒を予防しよう！ ～家庭で気を付けるポイント～

栄養管理室 管理栄養士 島瀬 紀洋

夏になり暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

気温や湿度が高くなるこの時期は、食中毒が起こりやすいため普段より注意が必要になります。

食中毒と聞くと、飲食店や給食をイメージする方もいるかもしれませんが、家庭での食事にも危険がたくさん潜んでいます。

今回はそんな食中毒を予防するために、家庭で気を付けるポイントを紹介します。

食中毒予防の三原則は「つけない」「増やさない」「やっつける」です。

○つけない（清潔・消毒）

- ・調理前や食事前など食品に触れる前は、石鹸で手を丁寧に洗い、清潔な状態にしておきましょう。
- ・包丁やまな板などの調理器具は、「肉・魚」と「野菜」など食材で使い分けるか、その都度よく洗浄・消毒しましょう。

○増やさない（保存・冷却）

- ・食中毒の原因となる細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になります。
 - ・10℃以下では増殖が抑制され、-15℃以下では増殖が停止します。つまり、菌を増やさないためには低温で保存することが重要になります。生鮮食品やお惣菜もできるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。
- しかし、冷蔵庫に入れていても確実に菌がなくなるわけではないので冷蔵庫を過信せず、早めに使い切りましょう。

○やっつける（加熱・殺菌）

- ・ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅するため、肉や魚はもちろん野菜なども加熱した方が安全です。
- ・特に肉料理は中心まで加熱することが大切です。（中心部を75℃で1分以上加熱が目安です）
- ・しかし、ウェルシュ菌という100℃で加熱しても死滅しないやっかいな細菌もいるため、カレーなどの煮込み料理は、常温で放置しない、人肌程度（約20～30℃）まで熱がとれたら冷蔵庫や冷凍庫で急速に冷ますことが大切です。



食中毒は対策方法を知っていれば、十分防ぐことができます。「つけない」「増やさない」「やっつける」を意識し、皆様の毎日の食事が安全でおいしく楽しいものになれば幸いです。

参考：「家庭での食中毒予防」厚生労働省
「食中毒を防ぐ3つの原則」政府広報オンライン

脳ドックのご案内

診療放射線技師長 水野 漢祥

当院では、3テスラのMRI装置を使って、脳卒中や脳動脈瘤、認知機能低下などのリスクを早期に発見するため、目的に応じた2種類の脳ドックをご用意しております。

【3テスラMRI脳ドック A 基本コース】 料金22,000円(税込)

脳の健康状態を総合的に確認したい方におすすめの基本コースです。

- MRIによる脳実質の評価
- MRAによる脳血管と頸動脈の評価
- 脳梗塞や脳出血の既往所見の確認
- 無症候性脳梗塞や脳動脈瘤のチェック

自覚症状がない方でも、将来の脳血管疾患のリスクを把握することができます。

【3テスラMRI脳ドック B 認知機能コース】 料金24,200円(税込)

基本コースに加え、認知症や生活習慣病による脳への影響をより詳しく調べたい方におすすめの充実コースです。

- 「3テスラMRI脳ドック A 基本コース」の検査内容
- 認知機能評価 アルツハイマー診断支援プログラム「VSRADアドバンス」による解析。脳卒中予防だけでなく、認知症予防や健康管理にも役立ちます。

このような方におすすめです。

- 40歳以上で一度も脳検査を受けたことがない方
- 高血圧、糖尿病、脂質異常症のある方
- ご家族に脳卒中や脳動脈瘤の既往がある方
- 物忘れが気になる方
- 定期的に健康状態を確認したい方



脳の病気は自覚症状がないまま進行することがあります。**脳ドックは、発症してからの治療では遅い脳卒中の危険因子を発見することができる、ほぼ唯一の手段です。**ご自身やご家族の大切な健康を守るため、この機会に当院の3テスラMRIで脳ドックをお受けになることをお勧めいたします。

なお、お申し込みはこれまで通りお電話やご来院のほか、病院ホームページのバナーからできるようになりましたので、ぜひご利用ください。

右の二次元コードからバナーのリンク先へ直接アクセスすることもできます。



～医王病院からのお知らせ～

感染管理認定看護師 池下 聖子

本格的な暑さを感じるようになってまいりました。かねてより当院内でのマスク装着にご協力いただきありがとうございます。令和8年5月25日より院内マスク装着ルールについて、一部変更しております。

【院内マスク装着について】

令和8年5月25日以降、症状がない場合で、かつ入院患者さんへの接触がない場合は、院内でのマスク装着を求めない（個人の判断にお任せする）ことになりました。なお、入院患者さんにご面会の方は引き続きマスク着用へのご協力をお願いいたします。（図1）



令和8年5月25日～
医王病院 院内感染管理委員会

医王病院ボランティア募集中!!

医王病院では入院患者さんの心のやすらぎや、
生活しやすい環境づくりのため、
ボランティアさんの力を必要としています

ふれあいボランティア

絵本の読み聞かせやお話などを
していただきます。
(週に1回～月に1回程度)



被服ボランティア

入院患者さんの衣類の直しや、
必要な物品（布製品）を
作っていただきます。
(月に1回第3金曜日)



園芸ボランティア

屋上庭園の整備と
お世話をしていただきます。
(2週に1回～月に1回程度)



興味のある方は
医王病院管理課長まで
076-258-1180

誠

< 医王特別支援学校の様子 >



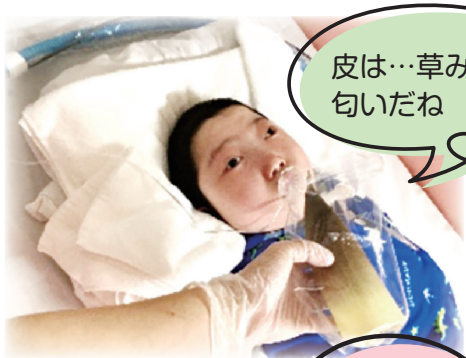
タケノコで春を感じて



学校の隣の里山でタケノコを掘り、その様子を動画で撮影しました。



子どもたちとタケノコ掘りの動画を見て楽しみ、またタケノコの皮や、身の匂いにも触れ、五感で春を感じるひとときを過ごしました。



皮は…草みたいな匂いだね



何枚も皮があるんだ！
スタンプしてみたよ↑



うーん・・・不思議なおいがするよ



においはわかるけど・・・
なんて言えいいかわからない
不思議なおい



私たちは「今、この瞬間」を感じる関わりを大切にしたいと考えています。瞬き一つ、指先のわずかな動き、そして穏やかな寝息の中に溢れる、子どもたちの豊かなメッセージを丁寧に汲み取りたいと思います。



石川県立医王特別支援学校

〒920-0171 石川県金沢市岩出町ホ1 番地

電話 076-257-0572 メール iouxxs@ishikawa-c.ed.jp

ホームページ <https://cms.ishikawa-c.ed.jp/iouxxs/>



～ 外来診察のご案内 ～



【診察時間】

内 科

診察受付/午前 8:40～11:30

診察時間/午前 9:00～12:00

小児科

診察受付/午前 8:40～11:30

診察時間/午前 9:00～12:00

【休 診 日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	高桑 (吉田/山田)	中村 (大学医師 /加藤)	脇坂 (大学医師 /細野)	吉田 (大学医師 /山田)	細野 (大学医師 /丸渕)
午後		午後は専門外来のみしています				

- ・健診、ワクチン是要予約⇒火曜日の14:00～15:00 枠で対応。
- ・医師の出張等により急遽担当が変更になることがあります。

●専門外来（要予約）

＜子どものこころ＞ 中村
 ＜言語/発達＞ 中村・脇坂・加藤
 ＜神経/てんかん＞ 脇坂
 ＜重症心身障害児・医ケア児＞ 丸渕
 ＜筋ジストロフィー＞ 脇坂
 ＜肥満・内分泌＞ 山田

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
	脳神経内科 (再診)	疋島	駒井 本崎	石田 高橋	駒井 本崎	石田 朝川
	脳神経内科 (初診)				本崎 11:00~11:30	朝川 9:00~10:30 石田 11:45~12:30
	呼吸器内科		田上			田上
午後	脳神経内科 (初診)	疋島 13:00~14:00				

- ・脳神経内科の受診は電話予約が必要です。内科外来へお問い合わせ下さい。

●皮膚科

診療科	月	火	水	木	金
午後	一 般	大学医師		大学医師	

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようにお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長まで
お気軽にお問い合わせ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

●交通アクセス

・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和8年8月17日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷